

ミシェル ザンク博士に名古屋大学レクチャー表彰楯を贈呈

昨年10月10日に開催された第1回名古屋大学レクチャーで講演を行ったコレージュ・ド・フランス副学長のミシェル ザンク博士（本学インターナショナルアドバイザリーボード委員）に、今年6月、名古屋大学レクチャー表彰楯が贈呈されました。

名古屋大学レクチャーは、本学学生、教職員のみならず

一般市民等多くの方々に本学が招へいた世界的に著名な研究者の講演を公開し、最高水準の研究に触れる機会を設けるため、高等研究院スーパーレクチャーの一環として昨年初めて開催されたもので、この表彰楯は、同レクチャーにおいて、講演者（レクチャー）への感謝と敬意を込め、新たに制作されたものです。

今回、ザンク博士に贈られた表彰楯は、国内外で多数の受賞歴がある著名な画家である西 大記氏が、“麒麟”をモチーフにデザインしました。モチーフの麒麟は、東西交流のあかしとして1200年間大切に保存されてきた正倉院中倉所蔵の絵がモデルであり、軽やかな筆致で麒麟や鳳凰などが描かれています。麒麟の出現は、聖人が現れ、平和で学問が尊重される世の中になる前兆であると言い伝えられてきました。西氏によれば、今こそ麒麟が出現し、世界が平和になり、学問が発展するように、との祈りを込めて制作したとのこと。



レクチャー表彰楯（中面）